

製品名: カルデスモンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02923**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 93 kDa; Observed MW: 80 kDa

抗原情報

遺伝子名	CALD1
別名	CDM; HCAD; LCAD; H-CAD; L-CAD; NAG22
遺伝子 ID	800
SwissProt ID	Q05682
免疫原	ヒトカルデスモン/CDM の合成ペプチド

背景

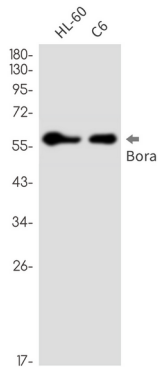
平滑筋および非筋細胞におけるアクチンミオシン相互作用の調節に関与するアクチンおよびミオシン結合タンパク質（ミオシンとア

クチンフィラメント間の橋渡しとして機能する可能性がある)。トロポミオシンのアクチン結合を刺激し、アクチンフィラメント構造の安定化を促進する。筋組織では、F-アクチンに結合してアクチンミオシン ATPase の活性を阻害する。

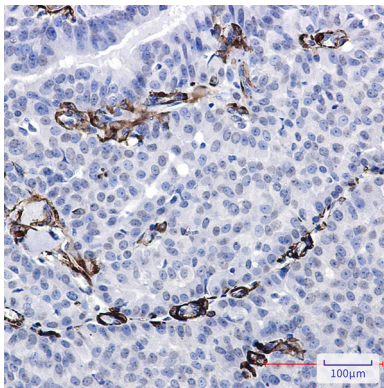
研究分野

細胞生物学

画像データ



カルデスモン抗体を使用した HeLa、C6 溶解物中のカルデスモン/CDM のウェスタンブロット分析。



カルデスモン/CDM 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。